陳情第１６５号

令和８年１０月　２日

川崎市議会議長　原　　典　之　様

多摩区在住者
ほか　15名

持ち主の分からない私道の舗装と水道管の更新を市が行うことを求める陳情

陳 情 の 要 旨

持ち主の分からない私道の舗装と水道管の更新を市が行うことを要望します。

陳 情 の 理 由

私たちが住んでいる住宅に面する道路は開発時から私道であり、現在の登記簿では東京都内の会社名義となっています。開発されてから45年近く経過し、道路はとても傷んでおり、水道管も老朽化しているはずで、いつ破裂するかわからない状態です。地震があったら崩れるのではないかと心配です。これは当然所有者が直すべきものですが、登記簿に記されている会社はすでにないようで、直してほしいという手紙を送ったところ郵便局より「宛先に尋ね当たりません」と返ってきてしまいました。これ以上探すためにさまざまな手続が必要です。こういう場合は道路公園センターからは道路を使用している者が「私道舗装助成制度」を使って補助を受けて直すことができるという話をいただきました。しかし、私たちにそんな大金を出すことはできません。第一なぜ私たちが自分の所有地ではない土地に（道路ですが）お金を出して直さなければならないのか、納得できません。ほぼ年金受給者です。道路は公共のものです。このように所有者もわからずどんどん傷んでいくのを放置するのは市民の安全を脅かすものだと思います。私たちは公道に面している方たちと同じように、市民税も固定資産税も払っており、とても困っています。この場合は市が直すべ

きと考えます。議会の皆様が制度を改め、所有者のわからない道路の整備を市が行って、市民の安全を守るように強く働きかけていただきますように、陳情いたします。